

2023

東京工業大学基金
活動報告書

Tokyo Institute of Technology Fund



Tokyo Tech

学長挨拶

「挑み続け、未来を創る東工大」

東京工業大学基金は、多くの皆様からの温かいご支援により、成長を遂げてまいりました。この基金を貴重な財源として活用し、教育・研究・社会連携・国際交流に関する様々な環境を一層充実できますことを心より感謝しております。

皆様ご存じの通り、東京工業大学は2024年10月に東京医科歯科大学と統合し、東京科学大学が設立します。両大学の伝統と先進性を生かしながら、これまでどの大学もなしえなかった新しい大学づくりは既にスタートしております。研究者同士の交流のためのフォーラムやセミナーの機会が格段に増え、大学の境界を超えた共同研究が多数始まっています。学生サークルの交流もみられるようになりました。また、2024年4月には、みんなで考えるブランディングプロジェクト「東京科学大学Brand Action!」による東京科学大学の理念とロゴマークが誕生しました。

異なる環境、背景、価値観を持つメンバーと一緒に新大学を創っていく中で、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)の重要性を改めて認識しています。東工大自体の構成員の多様性を促進する施策の一つとして、女性限定の教員公募や学士課程入試の総合選抜および学校推薦型選抜における「女子枠」の導入などに継続して取り組んできています。また、アンコンシャスバイアス研修の実施など教職員の意識改革の推進、多様性

の評価指標開発などのマネジメント改革も積極的に行っています。

大学に集う多様な人々が研究や教育に専念し、その能力を発揮できる環境の整備を加速しております。大隅良典記念奨学金に新たに「女子学生枠」を設け、2024年度から給付を開始しております。女性専用休養室・パウダールームの増設・新設、多目的トイレなどバリアフリー設備の拡充、外国人活躍支援活動の充実、ハラルやベジタリアン推奨メニューも提供する新食堂つばめテラスのオープンなど、着実に進めています。こうした取り組みをさらに拡充させ、世界中から多様な人材を集める大学を目指します。

このような本学の活動を通じた豊かな社会の実現に向けた取組を推進していくためには、財政基盤の一層の強化が必要であり、同窓生をはじめ、在校生のご家族、教職員及び企業等皆様のご支援ご協力が不可欠です。

新大学に向けて加速し、さらなる飛躍のため、引き続き本学への温かいご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

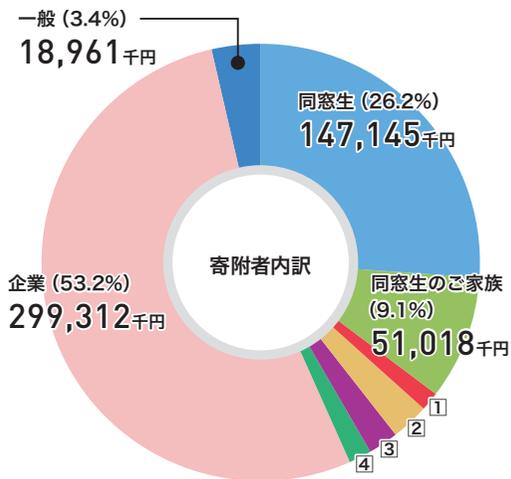
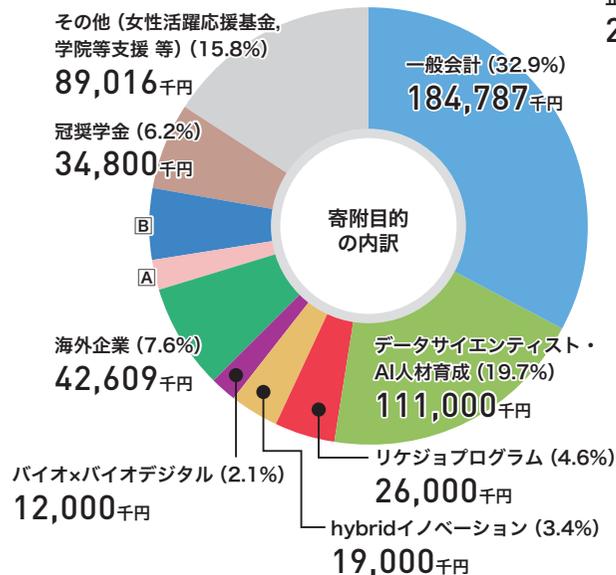


国立大学法人東京工業大学長

益 一 哉

受入額 562,166,049 円

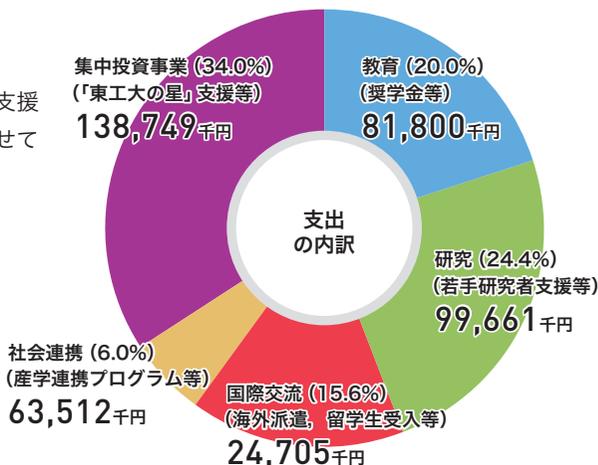
2023年度は、皆様からの温かいご支援により、これまでの最高額である約5億6千万円のご寄附をいただき、前年度比135.7% (約1億5千万円の増加) となりました。東京工業大学基金にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



① 在校生のご家族 (1.4%)	8,123千円
② 蔵前工業会・団体 (2.8%)	15,447千円
③ 退職教職員 (2.3%)	13,056千円
④ 現教職員 (1.6%)	9,104千円
A 修学支援基金 (2.3%)	12,754千円
B 卓越大学院プログラム (5.4%)	30,200千円

支出額 408,427,014 円

皆様からのご寄附は、右に示すとおり学生の修学支援や若手研究者支援をはじめとする諸事業に活用させていただきます。



運用状況 55,798,792 円

東京工業大学基金について運用を行い、約5,600万円の運用益がありました。引き続き、きめ細やかに運用していく予定です。

基金残高

4,327,390,084 円

DE&I活動の推進

東京工業大学は、一人一人の創造性が存分に発揮されるインクルーシブなキャンパスの実現に向けて、DE&I（ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン）活動に努めています。

■ 女性活躍環境改善モデルプロジェクト

本学では、女性活躍応援基金を設け、本学に進学を希望する女子学生のキャリア教育を充実させ、女性研究者が働きやすい環境を整備し、これまで以上に女性の活躍を応援しています。その一環である「女性活躍環境改善モデルプロジェクト」として、3,425,111円のご支援を賜り、大岡山キャンパス本館に女性専用のリフレッシュスペースを新設いたしました。

本モデルプロジェクトは、学内からの要望の取りまとめとコンセプト作成を女子学生と女性教職員のワーキングチームで進め、設計は環境・社会理工学院 修士課程2年の女子学生が行いました。リフレッシュスペースには、東工大本館の特徴であるアーチ形のデザインをモチーフに取り入れ、「東工大女性の毎日を支える、安らぎのあるエッセンシャルスペース」として、更衣・搾乳が可能なブースや、ゆっくり休養できる畳敷き、掘りごたつなどの諸機能を備えております。

本モデルプロジェクトにご賛同いただき、ご寄附いただいた方々への謝意として、2024年3月7日、本学大岡山キャンパス70周年記念講堂前に銘板を設置しました。本学では今後も引き続き女性活躍支援の取り組みを推進していきます。



女性活躍応援キャンペーンチラシ



女性専用のリフレッシュスペース



「寄附者御芳名」銘板

【利用者状況】

(利用頻度)

- ・週1回あるいはそれ以上、月2～3回程度、と多様な活用

(利用者の声)

- ・静かな環境で、落ち着いて学習や作業ができる
- ・体調不良の際に、休養できるスペースがあるのは非常にありがたい
- ・周りの目を気にせず、安心して休養できるため、とても満足している



女性専用リフレッシュスペース利用の様子

■ 「～多様な視点でありたい未来へ～ 東工大の女性展」の開催

2023年12月1日から約1ヵ月間、東工大におけるDE&I活動ならびに東工大基金の取り組みを紹介するロビー展を、三井住友信託銀行 自由が丘支店において開催しました。ロビー展の開催は東工大と三井住友信託銀行による初めての試みで、本学の活動と取り組みを広く地域の方々に知ってもらうことを目的としています。このロビー展では、「～多様な視点でありたい未来へ～ 東工大の女性展」と題し、各研究分野の第一線で活躍をしている19人の女性教員を紹介するパネルを展示しました。展示パネルでは、写真のほか、各教員の研究概要と研究キーワードが紹介されました。

開催期間中は、たくさんの来場者が熱心に展示を鑑賞し、本学への関心の高さが伺えました。ロビー展で大変ご好評をいただいたことから、本学における女性活躍のモデルケースとして、学内百年記念館においても展示を行いました。東工大では、「理工系女性の育成」を今後も強力に推進していきます。



展示パネルを鑑賞する益学長



学内展示の案内チラシ

■ 女性活躍応援フォーラム「理工系ライフと将来」を開催

ダイバーシティ推進室は国内外在住の女子中高生の理工系への進路選択を応援するため、2023年11月25日に女性活躍応援フォーラム「理工系ライフと将来」をTaki Plazaで開催しました。

この女性活躍応援フォーラムは、社会課題のひとつである女性理工系人材育成や裾野拡大を目的としており、今回が3回目の開催となります。参加した女子中高生たちは基調講演者やパネラーとして登壇した学生・卒業生と活発な情報交換を行いました。さらに、大学を卒業した理工系の女性が、社会人として企業で働く様子を描いた映像も流され、「理工系ライフと将来」を十分にイメージできる一日となりました。



女性活躍応援基金



フォーラムの様子

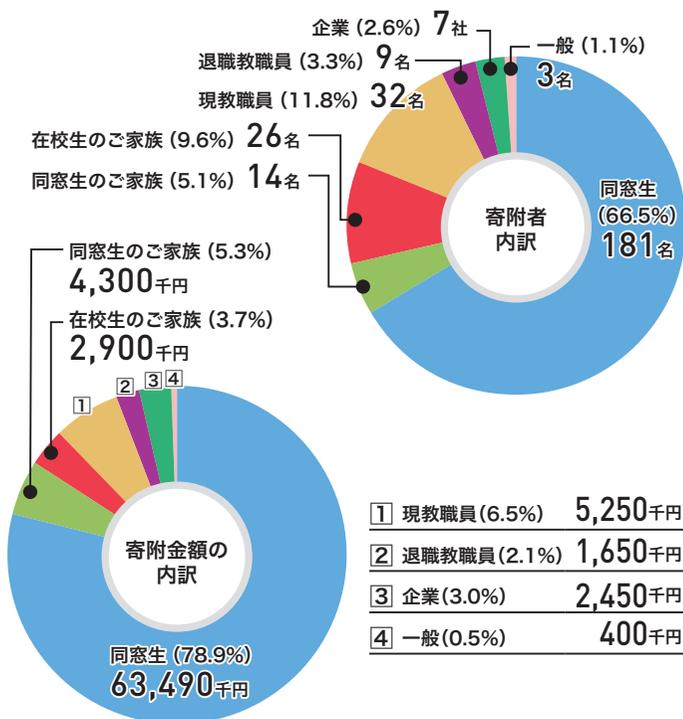


パネルディスカッションの様子

東工大応援キャンペーン

東京工業大学は、2024年10月1日より「東京科学大学」として新たな一歩を踏み出します。この重要な節目における財政的基盤強化を目的とし、2023年12月1日から2024年3月31日まで「東工大応援キャンペーン」を実施し、ご支援を募りました。本キャンペーンは、同窓会や学校行事、メルマガ等で皆様へご案内をし、同窓生や保護者の方々など、想定を遥かに上回る多くの方にご賛同いただきました。

多くの皆様の温かいご支援のおかげで、ご寄附の総額は、80,440,000円（272件）となりました。賜りましたご芳志は、本学の新たなステージへの飛躍のため、大切に活用させていただきます。



〇メモリアルグッズ着用の様子



益学長



寄附者の方（ホームカミングデーにて）

第7回・第8回 相続・遺贈セミナーを開催

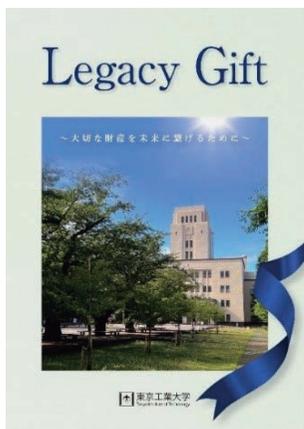
■ 大切な財産を未来に繋げる取り組み

昨今、今まで築いてきた大切な財産の一部を社会のために役立てたいと考えている方が増えつつあります。また、少子高齢化による社会情勢の変化や相続財産に関わる法制度の変更により、相続や遺贈への関心が非常に高まっております。

東京工業大学では、生前のご寄附のもとより、遺言によるご寄附（遺贈）や相続財産からのご寄附によって、皆様の社会に貢献したいといった想いを未来に受け継ぎ、実現してまいりたいと考えております。ご検討の段階から、ご相談を受け付けているほか、提携先の金融機関等のご紹介もさせていただいております。2023年度は2023年5月20日（土）および2024年1月16日（火）に相続・遺贈セミナーを開催し、約60名の方にご参加いただきました。本セミナーでは、相続に関する基礎知識や相続にかかる諸問題について、専門家を招いて解説を行うとともに、最近増えつつある公益性の高い団体への寄附や遺贈を通じた社会貢献等についてもお話ししました。また、セミナー終了後には、専門家による個別相談会も実施し、ご参加いただいた皆様から大変ご好評をいただきました。



相続・遺贈セミナーの様子



東京工業大学基金への遺贈による寄附をご検討いただいている方向けに、パンフレット（Legacy Gift）をご用意しました。こちらもぜひご参照ください。

本学では、土地、建物等の不動産や有価証券・貴金属等のご寄附もお受けしております。これらの現物寄附に対する課税（みなし譲渡所得課税）に関することなど、さまざまにご相談承っております。お気軽にご相談ください。



Legacy Gift
パンフレット



遺贈によるご寄附

○相続・遺贈の流れ



教育

～卓越した教育研究活動により優秀な人材を社会に輩出するために～

奨学金の充実

86名 52,500千円

意欲と能力がある学生に、希望する教育を受けられるよう、本学独自の給付型奨学金制度を実施いたしました。卒業生ならびに多様な企業様からご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

手島精一記念奨学金	6名
青木朗記念奨学金	6名
草間秀俊記念奨学金	4名
大隅良典記念奨学金	46名
三原正一記念奨学金(女性活躍・海外留学)	10名
多田記念奨学金	2名
みらい創造高専起業奨学金	2名
高砂熱学工業創立100周年記念奨学金	2名
パラマウントベッド奨学金	2名
太陽誘電奨学金	4名
Rajalakshmi海外留学支援奨学金	2名

【感謝の声】

○青木朗記念奨学金



内野攻哉さん（工学院）

この度は、青木朗記念奨学金の奨学生として採用していただき、ありがとうございます。私の家庭にとって大学院進学は、経済的に厳しい状況でした。しかし、本奨学金のおかげで、学費や生活費の助けとなり、学業に専念することができています。その中でも、私は研究活動に力を入れています。私のテーマは、第6世代移動通信システムに向けた超高速無線機的设计であり、研究そのものが次世代技術の発展の一助となっていることを感じています。これからも、この支援に込められた「将来リーダーとして国際的に活躍できる人材」になれるよう、学業に励んでまいります。改めて本奨学金のためにご寄附をして頂いた関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。

○三原正一女子学生生活躍支援奨学金



柴山莉里花さん（環境・社会理工学院）

この度は本奨学金にご採用いただき、誠にありがとうございます。奨学金によるご支援のおかげで、半年間ドイツのアーヘン工科大学に留学することができました。留学先では水やエネルギーに関する持続可能なマネジメントについて、授業を通して様々な切り口から考え、学ぶことができました。日本という国を外から見ることで新たな発見があり、様々な国籍やバックグラウンドを持つ友人との出会いは、自分の常識を覆す刺激的な体験でした。来年度からは開発コンサルタントとして海外で働く機会があるため、学生のうちに経験した海外での長期間生活は、自分にとって大変価値になると思います。国際的に活躍すべく、今後も研究や学生生活に励んでいきたいと考えています。

課外活動支援 7,969千円

サークルでいきいきと活動する学生たちを応援するため、本学の学生らが運営する公認サークルの活動等に対し、支援を実施いたしました。



東京工業大学Meister・第45回「鳥人間コンテスト2023」での様子/端艇部・第66回「五大学レガッタ」での様子/アカベラサークルあじわい・工大祭で披露する様子

研究

～理工系のトップユニバーシティとして最先端の研究活動をリードするために～

「東工大の星」特別賞【STAR】

2名 20,851千円

将来、国家プロジェクトのテーマとなりうる研究を推進している若手研究者や、基礎的・基盤的領域で顕著な業績をあげている若手研究者に対し支援を実施いたしました。

大隅良典基礎研究賞

3名 1,745千円

長期的な視点が必要な基礎研究分野における若手研究者支援を目的として、研究費の支援を実施いたしました。

あすなる研究奨励金

5名 3,776千円

理工学に関する基礎・基盤的研究（理学分野の研究だけではなく、成熟した工学分野における地道な研究や、流行にとらわれず長期的視点に立って新しい可能性に挑戦する研究、独創的であっても研究費が取りにくい工学分野の研究を含む。）における研究者に対して、研究費の支援を実施いたしました。

末松賞「革新的価値創造の基礎と展開」支援

3名 3,235千円

将来の基盤技術としてのデジタル技術に関心を持った若手研究者の育成と、コンピュータ、ロボティクス、ネットワーク技術等の活用に関する研究に幅広い支援を実施いたしました。

東京医科歯科大学との共同研究支援

16チーム 5,574千円

統合を前に東京医科歯科大学とのボトムアップ型共同研究を加速するため、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究およびテーマが具体的に決まっている研究に対して、支援を実施いたしました。

【感謝の声】

2023年度「東工大の星」特別賞受賞者



土方 巨准教授（工学院）
2023年度「東工大の星」特別賞【STAR】に採択いただきました。私は現在、人工心臓の研究開発を行っています。従来の人工心臓では、予め設定したモータ回転数で定常流を発生していましたが、患者の運動状態に合わせた流量の増減が行えないので安静を強いられる、などの課題がありました。そこで、人工心臓に使われる電磁石等で患者の拍動を推定し、そのタイミングに合わせて心拍同期制御が行える人工心臓を開発しています。今後も本ご支援のもと、医療技術の発展に貢献する所存です。ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

大隅良典基礎研究賞受賞者



澤田 茉伊准教授（環境・社会理工学院）
大変栄誉ある大隅良典基礎研究賞を賜り、心より感謝申し上げます。私の専門は地盤工学です。乾湿を受ける地盤で何が起きているのかを力学的に解明し、土構造物の維持管理に役立てたいと考えています。採択課題では、土構造物の劣化要因である乾燥亀裂ができる過程で土の内部に発生する応力を新しい方法で実測します。これまで測れなかった応力のデータを用いて検証することで、亀裂をより正確に予測するモデルの構築を目指します。

あすなる研究奨励金採択者



永畷 鮎美助教（生命理工学院）
私は、発生過程の胚への栄養供給において重要な化学感受容体や輸送体に着目し、日々研究に取り組んでおります。本研究では、栄養源として豊富な卵黄を蓄積させる生物種において、水や電解質濃度を適切に維持することで卵母細胞の恒常性を保つ役割を担う輸送体の解明を目指します。長期的には解析対象の生物種を広げ、胚発生における母子間の物質輸送の仕組みを比較することで、脊椎動物の多様な生存戦略を分子レベルで理解したいと考えています。その第一歩を支えてくださり、深く感謝致します。

社会連携

～企業・地域と連携することで社会課題の解決を図るために～

産学連携プログラム等 7プログラム 45,492千円

- 人生100年時代の都市・インフラ学
- 未来を創る”Hybrid Innovation”
- データサイエンティスト・AI人材育成
- 女性理工系人材応援プログラム
- バイオ×バイオデジタル
ーバイオDX人材人材育成のためにー
- 未来社会DESIGN機構 (DLab)
※現：未来社会DESIGN研究センター
- MOLCURE・AIロボット合成生物学



データサイエンス・AI全学教育機構シンポジウムの様子

理科教育振興支援

24件 8,648千円

将来のものづくり人材の裾野拡大を促進するため、小・中・高校生を対象とした知的創造性を育む活動を支援いたしました。



科学教室の様子

本学主催イベント支援

3件 2,748千円

本学が主催した、イベントを支援いたしました（スパコン2023, 工大祭, すずかけ祭）。



工大祭2023の様子

国際交流

～国際的教育・研究環境の構築のために～

様々な留学の機会（受入・派遣）を学生に提供するための支援を実施いたしました。

海外派遣支援 12名 5,360千円

グローバル人材海外派遣プログラム, キャンパス・アジアプログラム ほか

短期留学生受入支援 29名 12,570千円

G-SEP奨学金, ACAP, TAISTプログラム ほか

その他国際交流支援 6,775千円



留学生による研究成果発表の様子

海外同窓生との連携(Tokyo Tech Alumni Ambassador)

東京工業大学の同窓生の強固なネットワークを構築し、本学への留学希望者に向けた積極的な情報提供及び本学と日本国外の機関との連携を強化するため、Tokyo Tech Alumni Ambassador事業を実施しています。2024/3/18および3/27にオンラインミーティングを行い、オンラインコミュニティおよび東工大基金について紹介しました。



詳細はこちら

その他の活動

○遺言信託業務のご紹介

本学は、ご自身の築き上げられた財産の遺贈を希望される方々のために、株式会社三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、みずほ信託銀行株式会社及び三井住友信託銀行株式会社と、遺贈（遺言書による寄附）に係る遺言信託業務の紹介に関する協定を締結しております。

加えて、ご自身に何かあった際に、財産の一部の寄附先を、本学として、比較的手軽にお手続きいただける「遺言代行寄付信託」の取扱いもございます。

○社会貢献寄付信託

本学における社会貢献活動を応援いただく取組として、三井住友信託銀行と信託を活用した新たな寄附プログラム「社会貢献寄付信託」に参画しています。本プログラムは、全国14大学と連携して取組む「医療支援寄付信託」の中で、医学部を持たない本学が医工連携の強みを生かし参画しているものです。

いずれも、金融機関との連携により、皆様のお気持ち、思いを東京工業大学に託していただくプログラムとなっております。

ご寄附いただいた方への謝意

○「感謝の集い」

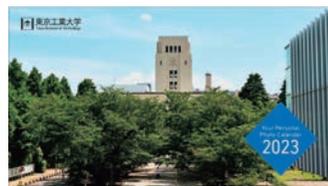
2023年11月1日、東京工業大学基金へのご支援いただいた方々を招き、感謝の意を表する「2023年度 感謝の集い」を開催いたしました。2023年度は、ご寄附いただいた個人や企業（団体）の方々をはじめ、卒業・修了生、在学生の家族、退職教職員および学内関係者の約160名が参加しました。



特別講演で講演する藤島准教授

○カレンダーキャンペーンの実施

カレンダーキャンペーンは、主に新入生の保護者や卒業生を対象にご寄附を募り、キャンペーン期間中に一定額以上ご寄附いただいた方に、特典として名前入り東京工業大学オリジナル卓上カレンダーを進呈いたしました。



オリジナル卓上カレンダー

「芳名刻印レンガ」の設置

個人30万円以上、法人100万円以上のご寄附をいただいた方には、芳名刻印レンガを大学施設内に設置いたします。2023年度は、新たに53件の芳名刻印レンガを設置しました。なお、芳名刻印レンガは2024年9月末までにご寄附いただいた方が対象となります。



紺綬褒章の授与

個人500万円以上、法人1,000万円以上のご寄附をいただいた場合は、国からの紺綬褒章の授与の対象となります。2023年度は、個人5名・法人1社をご推薦しました。



東京工業大学社会連携課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1

TEL : 03-5734-2415・2417

FAX : 03-5734-2485

MAIL : syaren@jim.titech.ac.jp



東工大基金

東京工業大学と東京医科歯科大学が統合し、2024年10月に東京科学大学が誕生します。